

実施団体	和歌山県木材利用推進協議会
事業名	森林資源の有効活用事業
事業目的、内容	<p>県内で生産される原木の50%以上がスギノアカネトラカミキリによる食痕材(アカネ材)であるが、強度的には健在材と同等の強度を有しているにも拘わらず、見た目の悪さから利用及び材価の低迷が続き、森林整備が進まない状況にある。</p> <p>このため、アカネ材の良さを普及するパンフレットの作製、講演会、森林体験ツアーを開催し、その良さの普及啓発活動を実施した。</p> <p>・参加者 122人</p>

